

KAS

Cotton Up



こっとなあつぷ Vol. 109



柔らかくてボリューム満点！
あつあつ鉄板ステーキを堪能しました。

目次

- | | |
|--|-----------|
| ・「WDSN32 (Watage Daily Support News)
～その人らしく地域の中で生きるということ～」 | <2～3 ページ> |
| ・ 新任紹介 | <3 ページ> |
| ・ ボランティアさん大募集中!!! | <4 ページ> |
| ・ 編集後記 (編集部) | <4 ページ> |

発行人 神奈川県自閉症児・者親の会連合会
代表者 内田輝雄 〒243-0035 厚木市愛甲 2-11-6-109
(毎月1回15日発行) 購読料1部 15円

WDSN (Watage Daily Support News) 32 ~その人らしく地域の中で生きるということ~

☆地域の中で生きる

突然ですが、皆さんは「地域に貢献する活動」を何かしていますか。急にそんなことを言われると、「そんなことは全くしていない」と思われる方も多いかと思います。人によっては、地域での活動に関心が強く、例えば、地域の福祉や防災の組織に入っている人もいるかもしれません。しかし、熱心に活動されている方は、そう多くないと思います。ですが、「地域に貢献する活動」とは、そう難しいことではありません。例えば、家を出た時に道にゴミが落ちていたとします。それを拾うだけでも、「地域に貢献している」と言えるでしょう。もっと簡単な事柄で言えば、近隣の方とすれ違った時に、「おはようございます」と挨拶するだけでも、地域の活性化に繋がると思います。人間は一人では生きていけません。支え合うことがとても大事です。グループホーム「こっとなはうす」に住む利用者の方達も地域の方達に時に支えられ、時に支えて生活をしています。

さて、今回は、こっとなはうすで生活する布施さんが、どうやってその力を活かし、地域に貢献しているか、ということを紹介したいと思います。

☆大雪が降った後に・・・

2014年2月、関東は記録的な大雪に見舞われました。横須賀の街も真っ白に染まりました。降雪があった当日、こっとなはうす利用者の皆さんは、雪の為、通所施設であるわたげには行かず、グループホームでゆっくりと過ごしました。翌日、天気は快晴。こっとなはうす近隣の道路には、雪がたくさん積もっていたため、雪かきをする必要がありました。そこで、力自慢の布施さんに雪かきを手伝ってもらうことにしました。

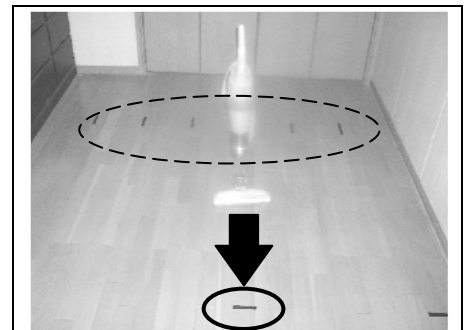
こっとなはうすの屋外は、一面に雪が積もり、真っ白となっていました。さて、雪かきをして道をキレイにしましょう。でも・・・、どこにある雪を取り除けば良いのでしょうか。道に広がった雪を全て取り除いたら、朝まで・・・いえ、雪が全て溶けるほうが早いと思います。まず、私達は、布施さんにどの範囲の雪かきをすれば良いか、わかりやすく伝える必要がありました。

布施さんは、清掃活動が得意です。こっとなはうすでは、自室の掃除機がけや洗面台の清掃に取り組んでいました。自室の掃除機がけ活動に取り組んだ時、どの範囲に掃除機がけをすれば良いか、明確に伝える必要がありました。そこで、床に線を引き、線と線の間で掃除機をかけることをお伝えすることで、隙間なく掃除機をかけることが出来ていました。(右写真)

そこで、掃除機掛けに取り組んだ時のように線を引き、掃除をする範囲を明確にすることで、今回の雪かきでも雪を取り除く範囲を布施さんにもわかりやすく伝えられると考えました。

まず、道路に積もった雪にスコップで線を2本引き、その線と線の中の雪を全て取り除けば終わりと伝えました。布施さんはすぐに求められていることを理解した様子で雪かきを始めていました。力自慢の布施さん、スコップを使ってどんどん雪を取り除いていきます。バス停の前を雪かきしましたが、歩行者が通ると、雪かきを止め、歩行者が通り過ぎるのを待つことが出来ていました。一生懸命、雪かきをしていると、その様子を見て、近隣の店舗から出て来た女性に、「ありがとう、ご苦労様」と声をかけていただくことがありました。やったね、布施さん。

布施さんのおかげで、雪かきは大成功。でも、降雪があるのは、年に数回あるかないかです。清掃が得意な布施さんなら、もっとその力を地域のために発揮できると考えました。そこで、近隣の草むしりにも取り組み、布施さんの力を地域で活かしてもらいましょう。



奥の、点線で囲った部分の線と線の間で掃除機のヘッドを置きます。手前の、実践で囲った部分まで掃除機をかけます。

☆草むしりに取り組もう

布施さんに草むしりを行うことを伝えると、にっこり笑って「任せろ」という様子。雪かきと同じように地面に線を引き、線から線の間にある全ての草を取り除くことを伝えました。もう布施さんには慣れ親しんだ方法でしたので、すぐにその意味を理解していました。

さて、布施さんと草むしりを始めると、布施さんは花を摘むように葉っぱを一枚ずつむしり始めました。雑草を抜く時には、根っこから抜かなければいけません。職員が見本となり、実際に草を抜いて見せました。「なるほど」といった様子で、布施さんはお手本通りに草を抜くことが出来るようになりました。

線と線の中の草を全て取り除き、草むしりは終了。布施さんの額には、気持ちの良い汗がうっすらと光っていました。お疲れ様でした、布施さん。



☆活動を終えて、職員が思うこと

今回、雪かきと草むしりという二つの活動で、布施さんに地域の中で活躍してもらいました。職員としては、初めて活動する時も、こっくんはうすですり組んだ活動を目安に支援することで、布施さんにとってわかりやすく伝えることが出来たと思います。

また、今回は布施さんの取り組みをご紹介しましたが、もちろんこっくんはうすに住む利用者の方達みなさん、それぞれが地域の中で、その力を発揮しています。私達職員は、利用者の方達がこっくんはうすですり落ち着いた生活することだけを目指すのではなく、地域の中で生活することも大事に考え、支援していかなければならないと思います。

布施さんには、次に近隣の箒掛けにも挑戦して、その力を地域で発揮してもらおう予定です。布施さん、よろしくお祈いします。

竹内祐輝

*** ** ** ** **

・ 新任紹介 ・

11月1日付けでわたげに非常勤職員として採用になりました田村智子です。主人と娘の3人家族です。主人も私もスポーツが大好きで、とても活発、元気以外には取り柄がない2人でした。しかし、娘が産まれてからは生活が一変しました。



娘は色々な病気に加え、知的障害があります。毎日、病院と家との往復で泣き、悩み、「この先真っ暗だ！」と考えた時もありましたが、これまで沢山の方に助けて頂き、ご指導を頂いたお陰で、家族みんなが笑顔で過ごせる様になりました。そんな娘も20歳になり、作業所で毎日頑張っている事に励んでいます。今の楽しみは、家族旅行に行くことです。

私たち家族が前向きになれたのは、色々な方の手助けがあったからだと思っています。元気や笑顔を忘れずに、日々を過ごしていきたいと思っています。1日でも早く仕事に慣れ、わたげの一員となれるよう頑張っていきますので、宜しくお祈い致します。

たんぽぽの郷後援会のご案内

たんぽぽの郷後援会は、横須賀・三浦地区に在住の「自閉症」という障害を伴った人たちが、ともに生きる仲間として、地域で生活していくために必要な支援に取り組んでいる【社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷】の活動を支援する事を目的に組織されました。

▼ 年会費	個人会員	1口	3,000円
	団体会員	1口	10,000円

たんぽぽの郷後援会にご理解、ご協力くださる方は、下記の郵便為替口座をご利用ください。

郵便為替口座番号 00240-9-17474

郵便為替口座加入者名 たんぽぽの郷後援会



ボランティアさん 募集中

わたげ・ふあず・こっとなはうすで

自閉症を伴う方々と一緒に何か活動してみませんか？

作業の検品、余暇活動の支援、清掃等

お手伝いをしていただける方がいましたら、ご連絡ください！！

〈連絡先〉

わたげ 電話：046-844-0038 (担当：かいえだ)

E-mail：aaq40690@hkg.odn.ne.jp

ふあず 電話：046-888-3961 (担当：しょうじ)

E-mail：adz13970@ams.odn.ne.jp

こっとなはうす 電話：046-852-8355 (担当：いもうじ)

E-mail：tanpoponosato-ch-rg250e@jcom.home.ne.jp



編集後記 ～編集部～

私たち支援者は「これができるようになるには、何が必要か」と、何気に「発想」「想像力」を使っているのではないのでしょうか。レオナルド・ダヴィンチは鳥の飛んでいる姿を見て、飛行機の図形をイメージして作りあげたとか…。鳥が飛んでいる姿を見て「飛んでみたい」と思う人はいたのかも知れませんが、機体に人を乗せて空を飛ばそうとした発想力は、もの凄い！！



最近、私たちの施設には、新しくボルトのワッシャー（リング）をはめる受注がありました。指先でワッシャーをボルトにはめることが大変であると感じた職員が、このボルト作業に何が必要なかを考えて据えに出たアイデアは、蜂蜜容器の先端部分についてある蜂蜜が出る穴が開いている部分でした。この容器先端を使うことで、均等の力がワッシャーに入り、ボルトの根元に到達すると「カチッ」と音がすることが爽快でやる気を引き立てる、絶賛の補助具となりました。私も、このような発想力を常に大切に、今年を締めくくりたいと思います。

高橋

編集 社会福祉法人 横須賀たんぽぽの郷 〒239-0824 横須賀市西浦賀3-13-21

TEL:046-844-0038/FAX:046-844-0036 E-mail:aaq40690@hkg.odn.ne.jp